

病床の効率的運営

松江市立病院

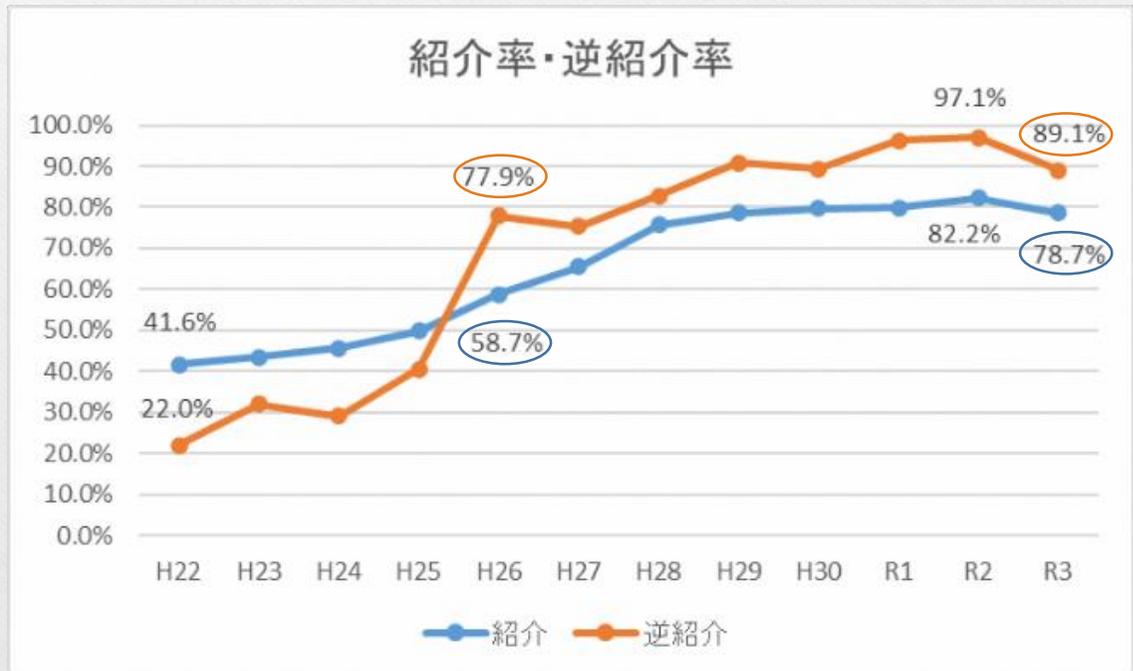
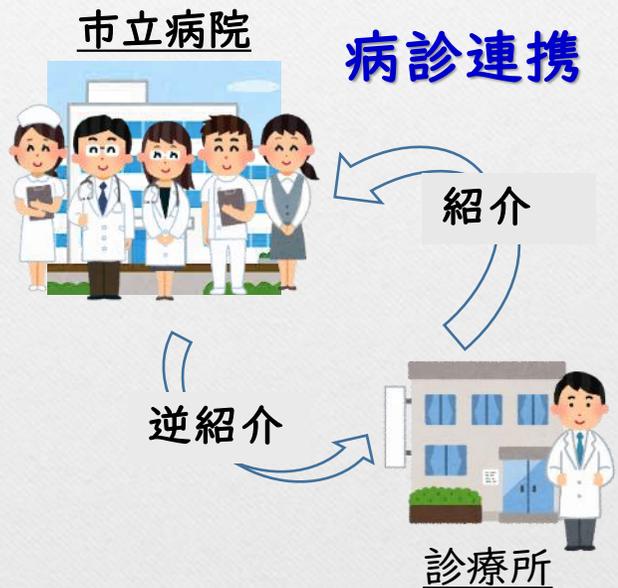


病診連携の推進

紹介・逆紹介率の向上
紹介率:平成26年度58.7% →令和3年度78.7%
逆紹介率:平成26年度77.9% →令和3年度89.1%

令和元年度 総合支援センター「入退院支援室」を開設

- ・地域の医療機関や介護施設等と連携
- ・入院前から退院後の療養まで、安心して入院等生活が送れるよう支援



高度医療を推進



在院日数の短縮
平成26年度14.4日 → 令和3年度12.4日

内視鏡手術など安全、安心な低侵襲手術を実践

開腹手術と異なり小さな傷で手術が受けられるため

⇒ ・傷が目立たない

・痛みが少ない

・術後の回復が早く、早期の退院・社会復帰が可能



ロボット支援手術の導入

従来不可能とされていた角度からの視野の確保と、鉗子の自在で精密な動きが可能

(対象症例)

- ・前立腺がん
- ・早期腎臓がん
- ・良性の子宮全摘出
- ・早期子宮体がん



病診連携・高度医療の推進

在院日数の短縮化

病床利用率の低下
平成26年度79.3% → 令和3年度70.4%

- ・病床を集約化し、効率的に運用
- ・スタッフを手厚く配置し、重点的な医療を提供

⇒ 令和5年4月1日から試行



(現行)
10病棟 419床

(変更後)
9病棟 373床

患者さんの受け入れや診療はこれまで通り行うとともに、
より充実した看護体制を構築・確保してまいります!